

UNIX システムへの SSH (Secure Shell) 接続について

システム運用掛

2000 年 7 月 3 日より UNIX システム (m-unix, scalar-mpp, sr8000-s, sr8000-p) へのネットワーク接続方法として SSH (Secure Shell) による接続を可能としました。本接続を利用すると利用者端末と本センターの UNIX システム間でネットワーク経路上のデータが暗号化されます。パスワードやプログラム、データ等で隠蔽したい情報の漏洩を防ぐことができるため、従来の telnet 接続に比べてより安全な通信となります。現在インストールしているバージョンは SSH Version 1.2.27 Protocol Version 1.5 です。(バージョン 2 は未対応) ここでは、本 SSH 接続を利用するための方法をいくつか紹介します。

SSH 接続できるホスト名

機種	OS	ホスト名
HITACHI MP5800/320	HI-OSF/1-MJ	m-unix.cc.u-tokyo.ac.jp
HITACHI SR8000	HI-UX/MPP	sr8000-s.cc.u-tokyo.ac.jp
		sr8000-p.cc.u-tokyo.ac.jp
HITACHI SR2201	HI-UX/MPP	scalar-mpp.cc.u-tokyo.ac.jp

(SSH 接続のポート番号は 22 を使用、従来通りの telnet 接続も可)

◆ ワークステーションからの接続 (UNIX 端末)

ワークステーションからホストに接続するためには telnet コマンドの代わりに ssh コマンド (または slogin コマンド) を使用します。

% ssh -l ログイン名 ホスト名 (または slogin -l ログイン名 ホスト名)

注) これらのコマンドは使用しているワークステーションにインストールされている必要があります。

コマンドが使用できない場合にはワークステーションの管理者にお問い合わせください。

1. コマンドを入力

```
myhost% ssh -l a30000 m-unix.cc.u-tokyo.ac.jp
```

2. はじめての接続では次の確認メッセージが出る (yes で答える)

```
Host key not found from the list of known hosts.
```

```
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes.
```

3. パスワード（以下の例では m-unix のパスワード）を入力

```
a30000@m-unix.cc.u-tokyo.ac.jp's password: _____
```

4. ログインに成功するとログインメッセージが出力される

```
Last login: Tue Jun 13 10:14:22 from sr8000-s.cc.u-tokyo.ac.jp
Welcome to MP5800 OSF/1 Unix at Computer Centre, the University of Tokyo
HI-OSF/1-MJ 05-03-/B (Mon May 31 17:00:00 JST 1999) / m-unix.cc.u-tokyo.ac.jp
See /info/* files (in JIS-kanji) for getting further information.
("show-info" is the command to read these files.)
You have mail.
%
```

◆ パソコンからの接続（PC 端末）

ネットワーク接続されているパソコンからホストに接続するためには、

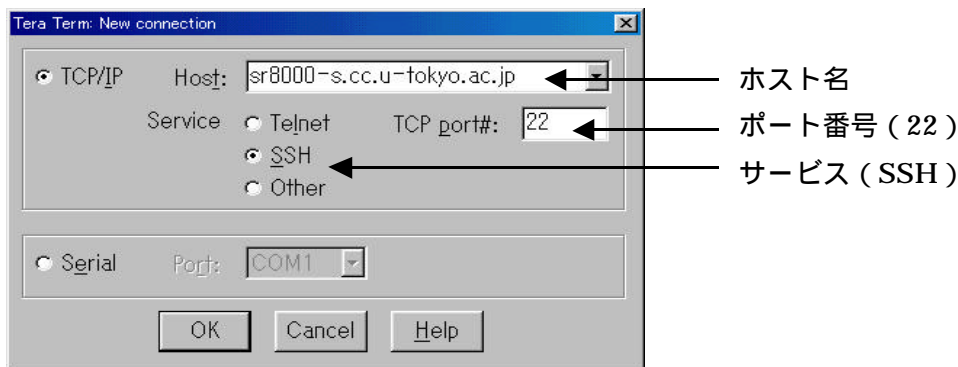
- 端末エミュレーター機能
- SSH クライアント機能

を持つソフトウェアが必要です。提供形態は様々で、機能を両方兼ね備えているソフトウェアもあれば、2つのソフトウェアが必要なものもあり、一概にどの方法が良いとは言えません。ここでは代表的な接続例を示しますので参考にして下さい。

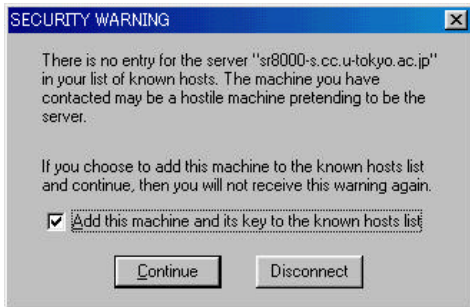
Windows からの接続

注) 端末エミュレーター-Tera Term PRO Version2.3(フリーソフト) + SSH クライアント機能 TTSSH Version1.5.1(フリーソフト) を使用した例です。これらのソフトウェアのインストール、起動、設定は付属のドキュメント等を参考に利用者自身で行って下さい。(本センターでは接続先ホストに関する内容以外のご質問には対応できません。)

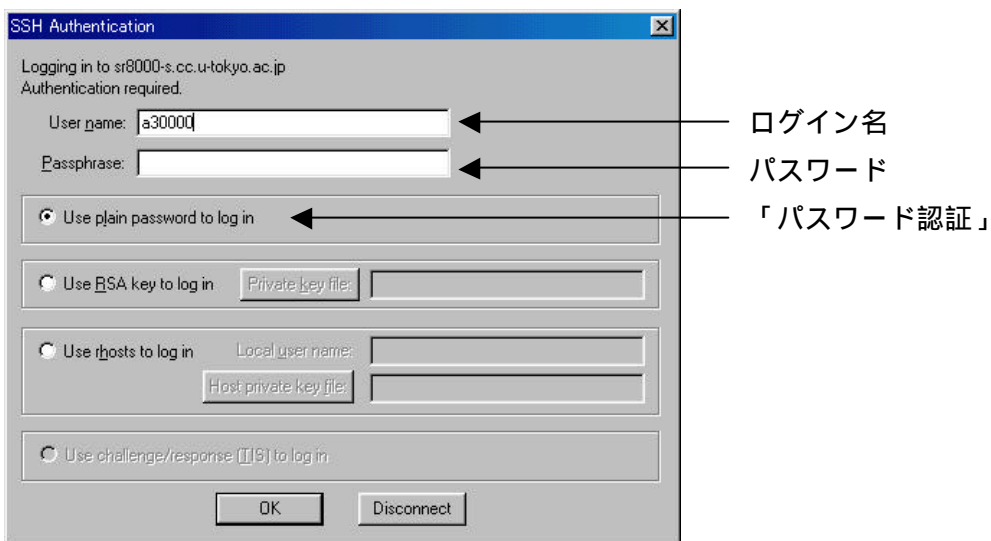
1. 端末エミュレーターを起動してホストに接続



2. はじめての接続では次の確認メッセージが出る（チェックして次に進む）



3. ログイン名とパスワード（以下の例では sr8000-s のパスワード）を入力

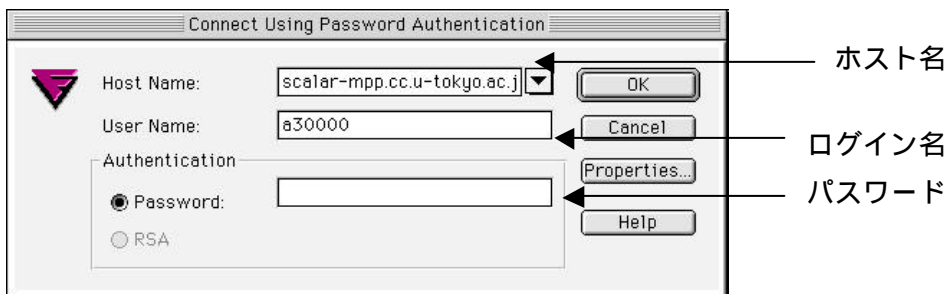


「OK」でログインメッセージが出力されれば接続完了です。

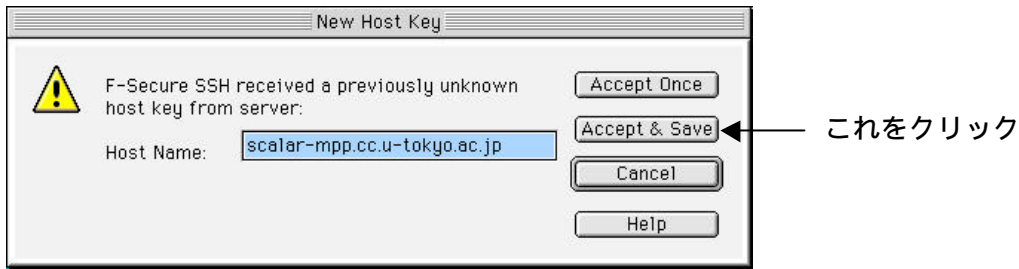
Macintosh からの接続

注)SSH クライアントソフトウェア F-Secure SSH Macintosh 1.0(商用)による接続の例です。なお、これらのソフトウェアのインストール、起動、設定は付属のドキュメント等を参考に利用者自身で行って下さい。(本センターでは接続先ホストに関する内容以外のご質問には対応できません。)

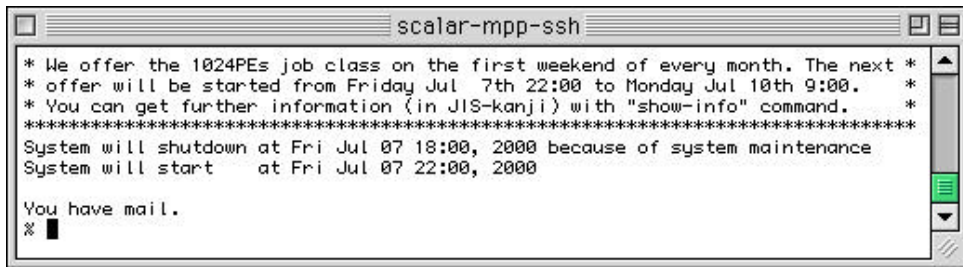
1. SSH クライアントソフトを起動してホストに接続



2. はじめての接続では次の確認メッセージが出る



3. ログインに成功するとウィンドウにログインメッセージが表示される

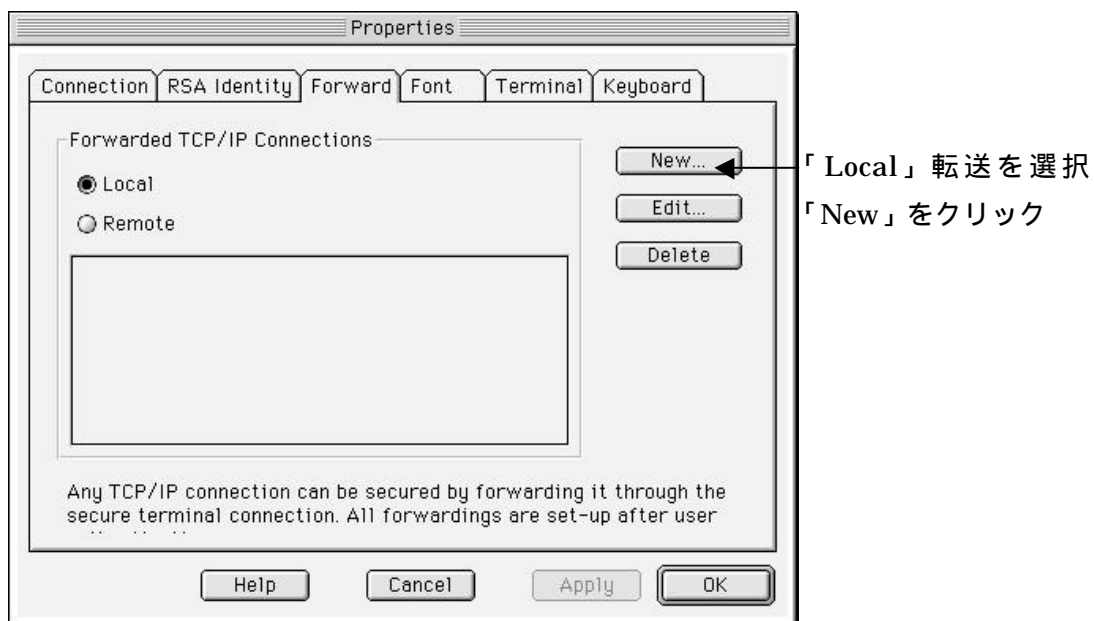


上の端末エミュレーターを使用しても良いのですが、ソフトウェアが日本語版でない場合には漢字を表示できないことがあります。このため、次に示すポート転送 (Port-forwarding) により、通常使用する端末エミュレーターを利用して SSH 接続する方法があります。

注) 以下を続けて行うときは一度、ログアウト% logout してから次の手順 4.~ 6.で設定してください。

1.の画面で「Properties...」をクリックすると4.の設定画面となります

4. ポート転送を設定するウィンドウを開く



5. ポート転送を設定する

Forwarded Connection

Name
telnet

Source Port
1000

Destination Host
scalar-mpp.cc.u-tokyo.ac.jp

Destination Port
23

Allow local connections only

OK
Cancel
Help

Name
適当に設定

Source Port
使用していない大きめの
ポート番号を指定

Destination Host
接続先ホスト名

Destination Port
23

6. 上記 1. ~ 3. の手順でホストに接続

注) ポート転送設定後 3. で表示されるウィンドウは使用しなくても、ポート転送を有効にするために必要です。ログアウトしないで下さい。

7. 通常使用している端末エミュレーターを起動

注) ここで使用した端末エミュレーターは Better Telnet 2.0fc1J4 (フリーソフト) です。他の端末エミュレーターでも特定のポートを指定できる場合には同様に SSH 接続が可能です。

このとき接続先「Host Name」には現在使用しているパソコンの IP アドレス (またはホスト名) とスペースに続けて上で設定した「Source Port」の値を入力します。

Open Connection...

Host Name:
あなたの端末のIPアドレス 1000

Window Name (optional):

Authenticate (%A)
 Encrypt (%E)

Cancel Connect

「Connect」でログインプロンプトが出たらログインします。